



# 京都医療科学大学保護者会だより

京都医療科学大学保護者会発行  
(京都府南丹市園部町小山東町今北1番3)

## ご挨拶

会長 安藤 公人

暑中お見舞い申し上げます。保護者の皆様におかれましては、益々、ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より保護者会の活動に格別のご理解を賜り誠にありがとうございます。

今年度保護者会会長に就任させていただきました安藤公人です。

新入生の皆様、保護者の皆様におかれましては、この京都医療科学大学で新たな第一歩を踏み出されたことをお喜び申し上げます。

また、従来は入学式当日に保護者会総会を開催致し前年度・今年度の議決を保護者会役員様に承認を頂いておりました。コロナ対応が明けた昨年度の保護者会役員会からは、対面での開催を実施し、今年度においては、卒業生組織である学友会メンバー様との合同懇親会開催を企画しましたところ、実りある6月役員会となりました。中でも、西谷名誉教授により「100周年までの道のり」と題したご講演を頂き、初期のシンプルなX線写真時代からデジタル技術への飛躍的な発展を改めて実感しました。AIにより診断能力もさらに向上するといわれていますが、今後もさらなる発展に期待したいと思います。

さて、保護者会としまして、学生の皆様がより良い学生生活を送れるように、この度、就任されました16名(1年4名、2年3名、3年4名、4年5名)の役員様と協力しながら事業計画を遂行して参りますので、ご支援・ご協力の程どうぞ宜しくお願い申し上げます。

今年度84名の新入生を迎え総勢372名(男子174名、女子198名)の学生が学長先生をはじめ諸先生方の万全体制のもと、4年間の歳月をかけて診療放射線技師になるための必要な専門知識の教育、また、医療に関わる人として教養を身につけて最終的には国家試験という階段をのぼりきり社会に巣立って行くこととなります。

先生方には、少人数という本学の利点を活かした学業、又、近年の医療機器の高度な進化と共に時代のニーズに沿った知識、技術への教育、更には、新しい医療機器の導入も図っていただき、実際の医療現場への臨床実習にも配慮していただいております。

このように時代が変わっても、常に時代の先端を見据えた教育を受ける環境整備が施された学び舎で学ぶ学生にとっては、今まで以上、気を引き締めて勉学に取り組んでいかねばなりません。

保護者の皆様におかれましては、そのようなことをお心にとめておいていただき、ご子息、ご令嬢に励ましの言葉をもって接していただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、本会へのご要望やお気付きの点がございましたら、役員、事務局までご連絡願えると幸いです。

今後とも会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

## 意欲あふれる大学を目指して

京都医療科学大学 学長 玉木 長良

国内でのコロナ感染症の制限も緩和され、通常通りの生活に戻りましたが、保護者の皆様はお元気でお過ごしのことと思います。今年も84名の新入生を迎えました。本大学では、通常通りの講義や実習ができるようになり、学生たちは毎日元気に勉学に励み、大学生生活を楽しく過ごしています。

4月20日(土)には晴天の中、学生クラス対抗の学長杯スポーツ大会が行われました。野外のグラウンドではフットサルやドッジボール、体育館ではバレーボールやバスケットボールで学生達の元気いっぱいの姿をみることができました。またスポーツの後には利用が再開できるようになった“東屋”でバーベキューパーティーをしました。この“東屋”でのバーベキューは人気があり、学生達も何度か利用して楽しんでいるようです。

またベトナムや台湾などとの交換留学制度も復活して、海外研修もできるようになりました。このプログラムは大変人気があり、希望者が多いため抽選をして参加者を選出しています。元気な学生たちが海外での研修や交流を通して、さらに視野を広げて帰国後も活躍してくれています。また昨年にはベトナムからの学生を初めて受け入れることができました。このような活動を通して、英語を存分に活用して意見交換をし、交流を深めて国際感覚を養うことができる点も魅力的な企画だと思います。

この大学は学生の活気であふれています。学生たちは勉学だけでなく、友人同士の会話やさまざまな学生生活を存分に楽しんでいます。そして周囲の教職員と気軽に挨拶をし話し合いをしており、私達教職員も元気をもらっています。2024年の標語には「意欲あふれる大学」という言葉を挙げています。学生も教職員も大いに意欲を發揮して、学生生活を豊かにし、活気あふれる大学に育てて行きたいものです。

本学の最大の特徴は、診療放射線技師の学校としては最も古い歴史を持つ点です。周囲の多くの病院やクリニック、さらには大学病院でこの大学の卒業生の皆さんが職員として働いておられます。先輩の方々

が勤めておられる病院に実習に行くことも多く、また将来就職先となる可能性も秘めています。先輩の皆さんは、学生を必ず温かく迎えてくれます。また現役の学生さんには、この大学の良さを後輩達にアピールし、元気を分け与えてもらいたいものです。



数年前に大学の90周年を迎えた折に、新しい校舎の建設、学生食堂の開設、さらには鳥津製作所からの寄付金を使った鳥津奨学金の給付などを始めました。学生食堂では毎日おいしい定食やお弁当を安価でいただくことができます。大変好評で昼には学生達であふれます。また大学に残って勉学に励む学生のために、超安価な夕食の提供を始めています。2027年には当大学が開校100周年を迎えます。種々の新しい企画を計画中ですが、皆様のご理解とご協力を得て、さらに本学を充実・発展させていきたいと願っています。

2022年の入学生から全国の診療放射線技師養成校で一斉に新しいカリキュラムの授業が始まっています。その大きな変化はCTやMRI検査の際、診療放射線技師が造影剤を患者に注射できるようになります。消化管検査の際の造影剤の注入や核医学検査のための放射性薬剤の投与も可能になります。また血管造影のための血管確保や装置との接続も可能となります。このための告示研修を始めているところです。医師から技師・看護師への医療業務のタスクシフトの考え方が広がりつつあり、診療放射線技師や医師、看護師含む多職種の医療チームが連携をとって、医療業務を協力していく姿勢が求められています。

学生は診療放射線技師になるという目標に向かって日々勉学に励んでいます。保護者の皆様におかれましては、このような学生を温かく見守ってあげてください。

保護者の皆様の本学への温かいご支援に感謝すると共に、今後ともご指導、ご鞭撻をお願いします。

## 〔大学だより〕 ❖❖❖❖❖❖❖

### — 第14回卒業式が挙行されました —

寒さ厳しかった天神山のふもとに、ようやく春の息吹が訪れ始めた3月9日(土)、本館5階の学友会記念ホールで、第14回卒業式が挙行され、卒業生79名が玉木学長から学位記を授与され、また上田理事長より、記念品が贈呈されました。

卒業生に対し、玉木学長から『コロナ禍によりこれまでとは違った学生生活を余儀なくされた皆さんは、変化への対応をしっかりと学ばれました。これからますます加速していく社会にも順応する力を身につけられたことと思います。ここまで励まし、育ててくださったご両親、ご家族、その他皆様を支えてくださった多くの人々に「感謝の気持ち」を忘れないでください。また、社会からは、医療人としての要望は益々大きくなっており、大学で学んだ知識・技術、大学で育んだ豊かな人間性を発揮して、医療人への期待に応え社会に恩返ししていただきたい』と、激励されました。

また、在学生代表 田中大翔さんによる送辞のあと、卒業生代表 新里興平さんが答辞を述べられました。

続いて来賓の西村良平南丹市長と、学友会の会長からご祝辞をいただきました。

学友会 錦成郎会長からは、「技師の心構え、学友会で絆を深め、奮闘されるように」との祝辞をいただきました。

保護者会からは、毎年、卒業記念品をお送りしております。



## — 2024年度入学式が挙行されました —

学内のしだれ桜が咲いている学園での、4月6日(土)、京都医療科学大学18期生の入学式が挙行されました。

入学式では、18期生となった新入生84名が紹介され、新入生代表の小森一加氏による宣誓が行われました。

また、在学生代表 小畑裕有也氏が新入生歓迎の辞を述べました。

玉木学長の式辞では「4年後に皆さんが活躍することとなる医療現場では技術や知識はもちろんのこと、患者を思う優しい心など、豊かな人間性も大事である。人間性を磨くために、社会常識や一般教養もしっかりと主体的に学び、それらを通して変化に対応できる知性や混沌とした社会に対応できる能力を身に付けてください」と述べられました。また、上田理事長、学友会錦成郎会長からも祝辞を賜りました。



## — 学長杯スポーツ大会が開催されました —

4月20日(土)に「学長杯スポーツ大会」を開催しました。開会式では、学長より「学内の講義・実習はほとんどが屋内で行われるため、このような機会に大いに体を動かし、思い切り汗を流して欲しい。またスポーツを通してチームワークや団結力を養うことは、チーム医療における協調性やコミュニケーションの向上にもつながります。スポーツが得意な人もそうでない人もぜひ楽しんでください。」と、お話がありました。本学では毎年、学年間の親睦及び新入生歓迎の目的でこの学長杯スポーツ大会を行っています。当日は初夏のような天候の中、多くの参加学生がスポーツを楽しむ姿が見られました。

試合結果は以下のとおりとなり表彰式を実施しました。

終了後には教員と学生との協力による東屋でのバーベキュー開催を実施することができました。

バレーボール優勝	4年
バドミントン優勝	3年
フットサル優勝	3年
ドッジボール優勝	4年
総合優勝	3年



## — OSCE オスキー —

臨床実習を控えた4年生については、5/13～5/22までの期間において、学内に於いてOSCE・実技講義を受講しました。

授業内容は、臨床実習を通じて、画像診断機器の操作法や画像診断に役立つ撮影・撮像法および画像処理技術、チーム医療の重要性、患者の接遇方法の実践を習得することとし、学修目標としては、診療画像技術学臨床実習Ⅰで学んだ診療画像検査についてさらに理解を深め、画像機器工学、診療画像技術学及び診療画像解剖学の講義等で学習した知識をもとに、診療放射線技師としての基本的な実践能力を身につけ、併せて画像診断機器の安全管理について理解を深めるとなります。

臨床の現場を経験した教員による指導を受けて、実習病院に赴くことになりました。

毎年緊張感を持ち臨床実習に臨んでいます。



## — 1年生／島津創業記念資料館を見学しました —

2024年5月24日、本谷崇之先生引率の下、1年生84名が、本学発祥の島津レントゲン技術講習所跡地にある島津創業記念資料館を見学しました。

島津創業記念資料館は、文化庁から“国の登録有形文化財”、経済産業省から“近代化産業遺産”に指定され一般公開されています。館内は、島津製作所の創業者初代島津源蔵／本学創設者二代目島津源蔵の紹介に始まり、明治8年(1875年)以降、製造されたX線装置、理化学機器などが展示されています。

今回のルーツ訪問は、これから専門教育を受けていく1年生にとって、勉学に向けた励み、又、良い刺激になったものと思います。

備考：島津レントゲン技術講習所は昭和2年に創立され、本学のルーツであるとともに、我が国初の放射線技師教育施設でもあります。館内には、創業以来、製造販売してきた理化学器械、医療用X線装置や産業機器をはじめ事業活動に関連する歴史的な文献・資料などを常設展示し、島津製作所の歩みと日本の近代科学技術の発展過程が観覧することが可能です。



## — 第101回3年生がレントゲン祭に参加しました —

令和6年2月10日(月)、株式会社島津製作所三条工場で開催されているレントゲン祭に3年生が参加しました。

レントゲン祭は毎年レントゲン博士の命日におこなわれており、今回で第101回目となります。

式典では、レントゲン博士のX線発見の偉業を偲ぶ慰霊祭に引き続き、ドイツのレントゲン博物館を映像で巡る企画が準備され、その後、京都大学大学院医学研究科医学専攻放射線医学講座画像診断学・核医学の中本裕士教授による祈念講演を拝聴いたしました。

近い将来の診療放射線技師になる本学3年生にとっても本学園の理事でもある先生のお話を伺うことの出来るよい機会となりました。



## — 第76回診療放射線技師国家試験を受験 —

第76回診療放射線技師国家試験が2024(令和6年)2月15日(木)に大阪府吹田市の大和大学にて実施されました。本学では卒業式を控えた4年生79名が受験しました。合格者は78名、合格率は98.7%でした。なお、全国の合格率は(既卒と新卒)79.5%。(新卒)86.3%でした。

### 〔国際交流〕 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

## — ベトナムへの海外研修を実施しました —

2024年2月25日(日)から3月6日(水)までベトナムでの海外研修を実施いたしました。今年も3年生12名の学生が、下記の2施設にて研修を受けました。

- ・チョーライ病院(ベトナムで日本のJICAが支援して建設したベトナム三大病院の一つ)での病院研修
- ・フエ医科薬科大学の学生との国際交流・文化交流

ベトナム研修は昨年度から復活致しましたが、今回は玉木学長がチョーライ病院を表敬訪問いたしました。前半は、チョーライ病院での研修、後半はベトナム南部のフエ市に移動し、フエ医科薬科大学の学生との交流を実施しました。9月にフエ医科薬科大学学生2名と教員2名が本学を訪問し、5年越しで相互交流が実現しました。

本研修は、事前準備から英語での発表を学び、文化交流の準備を通して団結力やチーム力を高める意味においても重要な機会であります。今後も充実した研修として実施してまいります。

研修にて国際的な視野を持ち、海外学生との友情を育み、学生たちは大きく成長しました。



## — 2024 年就職懇談会報告 —

6月1日(土)、4年生向けに学友会(本学の卒業生で構成)主催の就職懇談会が開催されました。

診療放射線技師に特化した就職説明の場はあまりありませんが、歴史のある学友会の協力により実現することが出来ました。当日のプログラムは様々な施設や企業に勤務している先輩が集い、就活開始間もない4年生へのメッセージや採用する側からのアドバイス、またそれに引き続いて大学病院、公的病院、一般病院、予防医学などに分かれての個別相談会がおこなわれました。実際に勤務している放射線技師や病院側の採用に対する考え方などを聞く機会を得て、参加した学生にとってあらたな気づきを得られた一日となりました。



## — 2023 年度の就職・進学状況 —

今春の卒業生の就職内定状況は81名(男子35名、女子45名、大学院への進学者が女子1名)です。

種別	施設名	人数
進学	藤田医科大学 医療科学研究科 医療科学専攻	1
大学 附属 病院	大阪医科薬科大学病院	4
	大阪大学医学部附属病院	1
	関西医科大学附属病院	1
	京都府立医科大学附属病院	1
	近畿大学病院	1
	滋賀医科大学医学部附属病院	1
	明治国際医療大学附属病院	1
国立・ 公的 病院等	岡山済生会総合病院	1
	社会福祉法人恩賜財団 済生会富山県済生会富山病院	1
	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会千里病院	1
	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院	4
	社会福祉法人恩賜財団 済生会京都済生会病院	2
	日本赤十字社 伊勢赤十字病院	1
	日本赤十字社 京都第二赤十字病院	1
	日本赤十字社 和歌山医療センター	1
	国立循環器病研究センター	1
	市立長浜市民病院	1
	市立大津市民病院	2
	市立八幡浜総合病院	1
	近江八幡市立総合医療センター	1
	滋賀県立総合病院	1
	地方独立行政法人 奈良県立病院機構	1
	独立行政法人 国立病院機構 金沢医療センター	1
	島根県職員(診療放射線技師)	1
	兵庫県職員(診療放射線技師)	1
	企業	メディカルエキスパート株式会社
株式会社 ジェイ・トラスト		1
私立 病院	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	1
	医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院	1
	医療法人健康会 京都南病院グループ	1

種別	施設名	人数
私立 病院	医療法人社団英明会 大西脳神経外科病院	1
	医療法人孟仁会 摂南総合病院	1
	株式会社互恵会 大阪回生病院	2
	京都中部総合医療センター	1
	医誠会 国際総合病院	1
	社会医療法人岡本病院(財団) 京都岡本記念病院	1
	社会医療法人祐生会 みどりヶ丘病院	2
	社会医療法人駿甲会 コミュニティーホスピタル 甲賀病院	1
	社会医療法人誠光会 淡海医療センター	1
	社会医療法人渡邊高記念会 西宮渡辺病院	1
	社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	1
	社会福祉法人京都社会事業財団 西陣病院	1
	特定医療法人渡辺医学会 桜橋渡辺病院	1
	地方独立行政法人 公立甲賀病院	1
	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター	2
	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター	1
	洛和会ヘルスケアシステム	2
	一般財団法人 住友病院	1
	三菱京都病院	1
	都倉病院	1
予防 医学・ 画像 センター 等	一般財団法人 近畿健康管理センター	4
	一般財団法人 京都工場保健会 京都工場保健会	2
	一般財団法人 石川県予防医学協会	2
	一般社団法人 大阪府結核予防会	1
	医療法人知音会 御池クリニック	1
	医療法人創健会 西村診療所	1
	医療法人大和英寿会 大和健診センター	1
	公益財団法人 静岡県結核予防会	1
	愛媛県厚生農業協同組合連合会 愛媛県厚生連健診センター	1
メディカルスキニング	2	
医療法人仁泉会 MI クリニック	1	

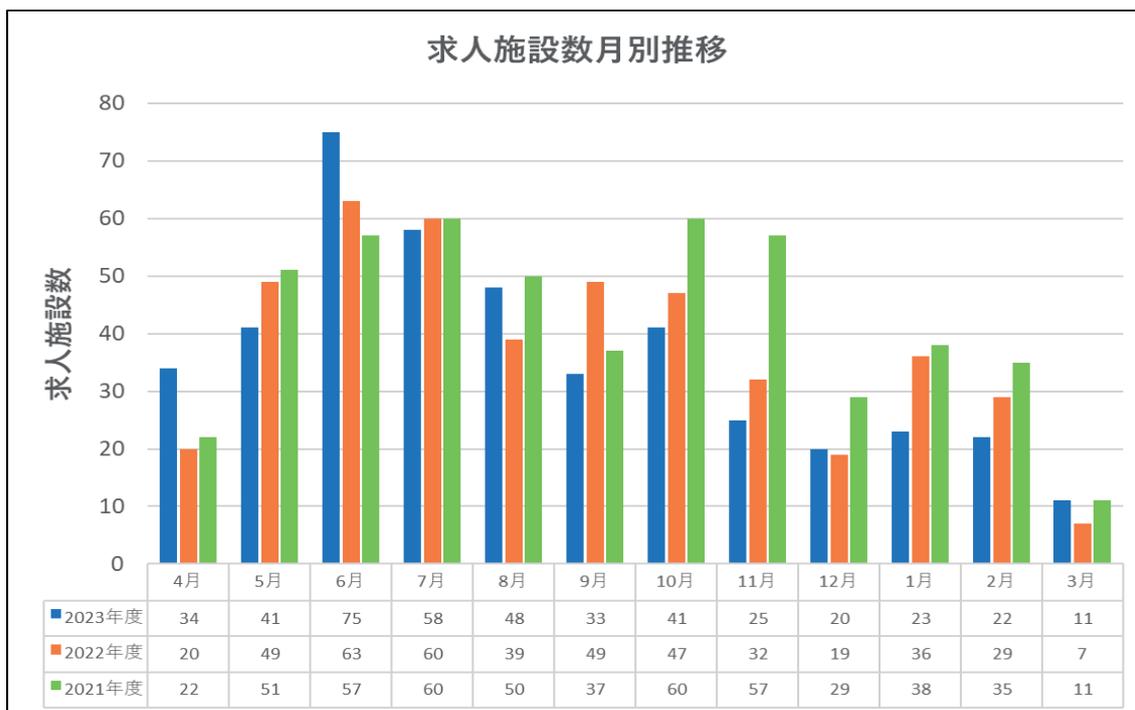
## — 2023 年度就職内定状況 —

昨年度の就活状況

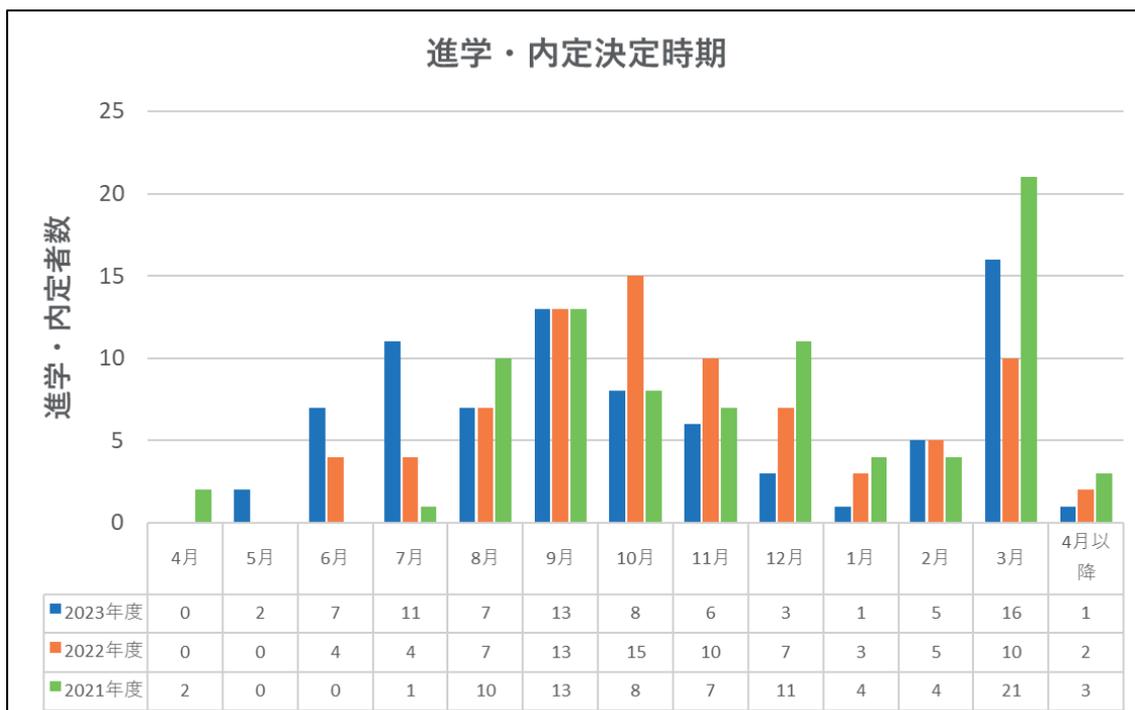
キャリア支援センター

2023 年度の求人状況(求人件数 431 件、求人数 890 名)と、卒業生の就職状況をお知らせします。

### 2023 年度 求人の推移 (月別)



### 2023 年度 進学・内定時期



## 〔教員人事〕 ◆◆◆◆◆◆◆◆

### — 中村泰典先生が着任されました —

2024年4月1日付けで講師として着任されました。

本学園で実践臨床画像学実習、核医学検査技術学Ⅰ・Ⅱ、核医学検査技術学実習などを担当されます。

## 就 任 挨 拶

講 師 中 村 泰 典

私は1994年に本学を卒業し、その後、京都府立医科大学附属病院に入職しました。診療放射線技師として30年間勤務し、一般撮影、透視、CT、MRI、放射線治療、そして核医学検査技術を含む幅広い臨床経験を積んできました。特に、放射線取扱主任として、サイクロトロン、PET-CTなどの新技術の導入に関わり、核医学の進歩に携わってきました。

放射線取扱主任の業務では、放射性同位元素等の規制に関する法律および医療法に基づく管理を主とし、放射線業務従事者の健康診断、放射性同位元素等の管理、漏洩線量の測定、教育訓練、放射線障害予防規程の作成などを行ってきました。病院長や事務長、原子力規制委員会、京都市保健所、京都市消防局などと対面で話し合うことも多く、特に放射性同位元素の排水漏れなどが発生した場合には、迅速に対処することが求められました。これらの経験を通じて、法律を意識した業務の重要性を学びました。

近年、核医学の分野では大きな進展が見られます。特にPET-CTやPET-MRIなどのハイブリッドイメージング技術の進化により、より正確な診断が可能になっています。また、新しい放射性医薬品の開発により、特定の疾患やがんの早期発見と治療が進み、患者のQOL向上に大きく寄与しています。さらに、放射性同位元素であるルテシウムなどを用いた放射性同位元素内用療法も増加しており、これに伴い、医療スタッフへの放射線防護の意識強化がますます重要となっています。これらの技術革新は、核医学がより重要な役割を果たす時代を迎えていることを示していますが、それに伴った法律を意識した業務の重要性も高まっています。

私のこれまでの経験から得た知識と技術を学生たちに伝え、彼らが核医学の分野で活躍できるように指導していくことを目指しています。まずは国家試験に合格できる実力をつけることはもちろん、病院に勤務した際に自ら臨床的疑問を見つけ、解決できる能力を持つ診療放射線技師を育てたいと考えています。

核医学の進歩は急速であり、それに対応するためには常に最新の知識を学び続ける姿勢が必要です。学生たちには、この姿勢を持って臨んでもらいたいと思うと同時に、私自身も教員として、最先端の技術や知識を取り入れ、教育内容を充実させていきたいと思っております。

最後になりましたが、診療放射線技師教育に全力で取り組んでまいりますので、皆様のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 2023(令和5)年度 会計報告書

京都医療科学大学保護者会

収入の部	項目	2023年度予算額	2023年度決算額	予算差異	摘要
	前年繰越	2,867,240	2,867,240	0	前年繰越金
	会費	3,640,000	3,640,000	0	2023(R5)年度会費 計:91名分(総合・推薦・一般入試の合計)
	雑収入	50	34	-16	定期預金利息・決算利息
	前受会費	2,480,000	2,160,000	-320,000	2024(R6)年度・前受金:54名分 (総合・推薦 54名分)
	前年度前受	-2,400,000	-2,480,000	-80,000	2023(R5)年前受金(総合・推薦62名分)
	合計	6,587,290	6,187,274		

支出の部	項目	2023年度予算額	2023年度決算額	予算差異	摘要
	会議費	210,000	146,800	63,200	
	総会費	10,000	30,000	-20,000	総会・第1回役員会同時開催費用
	役員会費	200,000	116,800	83,200	役員会費用等
	事業費	3,735,000	3,011,332	723,668	
	設備食堂助成費	600,000	600,000	0	島津学園への食堂助成
	体育助成費	350,000	350,000	0	学長杯スポーツ大会関連助成
	学習助成費	1,537,448	1,084,312	453,136	学園祭、レトケン祭、学生あて助成
	就職指導費	100,000	100,000	0	学友会との就職懇談会等助成
	広報費	294,300	293,700	600	保護者会だより(2回)印刷費等
	式典助成費	1,008,930	583,320	425,610	卒業・入学式、二十歳のお祝い、謝恩会等
	事務費	10,000	0	10,000	諸事務費
	通信費	67,000	78,523	-11,523	保護者会だより等送料
	消耗品費	0	39,050	-39,050	封筒作成
	雑支出	13,000	17,600	-4,600	手数料・両替手数料ほか
	会費等返金	0	0	0	入学辞退者返金分
	予備費	35,448	0	35,448	突発事項対処予備費
	小計	4,226,126	3,293,305	932,821	(支出小計)
	繰越金	2,361,164	2,893,969	-532,805	次年度繰越
	合計	6,587,290	6,187,274		

2024年3月31日現在

翌年度繰越金内訳	予算	決算	
定期預金	1,200,000	1,200,000	0
普通預金	2,058,180	1,693,302	364,878
現金	667	667	0
合計	3,258,847	2,893,969	364,878

## 監査報告書

監査の結果、2023(令和5)年度会計決算は、すべて正しく確実に処理されていることを確認し、ここに証します。

2024年3月31日

監査 保城 園美

監査 溝渕 友樹

# 『役員会報告』

保護者会事務局

昨年 2023 年度より、第 1 回役員会を総会と同時開催致しています。新学年の役員様からは総会議決についての委任状を以て開催の承認をいただくことといたしました。

- 1) 2023 年度事業報告
- 2) 2023 年度会計監査報告
- 3) 2024 年度新役員選任について
- 4) 2024 年度事業計画(案)
- 5) 2024 年度会計予算(案)

第 1 回役員会は、議事《(1) 2023 年度事業報告、(2) 2023 年度会計監査報告、(3) 2024 年度事業計画(案)、(4) 2024 年度予算案(案)の承認を行い、(5) 寄附金についての報告》を致し、2024 年度(案)は承認されました。これら以下の内容を総会の議決事項と致し今後の方策については継続して審議してまいります。

- 1) 2025 年度の入学生からの会費徴収は行わず、精査した必要経費を学園からの負担とします。
- 2) 保護者会の情報発信については、多くの方々への情報発信可能な体制を構築してゆきます。(この方式も開催適用の範囲をまずは、役員会で実施実験などをして検討してゆきます)

また、出席の玉木長良学長から挨拶ならびに鈴木事務局長から大学の近況報告、学生支援センターの活動状況等を小山センター長からも報告を頂きました。海外交流状況を霜村委員長から臨床実習状況を水田委員長から報告されました。

尚、会計・監査報告・決算については、毎年、監査法人トーマツ様によります会計監査を受審しております。

また、会則に基づき安藤公人会長と事務局で協議のうえ他の役員様に役員(下記参照)を委嘱させていただきました。

- 会 長 安藤 公人
- 副会長 橋戸 好美
- 副会長 上青木光一
- 会 計 中田 晋
- 会 計 田中 千穂
- 監 査 池 和秀
- 監 査 米田 雅紀
- 幹 事 丹治 義明
- 幹 事 保城 園美
- 幹 事 溝渕 友樹
- 幹 事 滝山 央子
- 幹 事 大坪今日子
- 幹 事 依田 悦夫
- 幹 事 坂中 貴光
- 幹 事 奥村 大樹
- 幹 事 村上 知香
- 幹 事 森 俊博
- 幹 事 芦田麻美子

本年度は以上の役員で本会の運営、事業を推進します。

# ≪ 2024(令和6)年度 予算 ≫

京都医療科学大学 保護者会

項 目	2024年度予算	摘 要
前年繰越	2,893,969	前年繰越金
会 費	3,640,000	2023(令和5)年度会費計：91名 (総合・推薦、一般入試の合計)
雑 収 入	50	預金利息等
前受会費	2,160,000	2024(令和6)年度前受金 (総合型・推薦54名 入学者分)
前年度前受	- 2,480,000	2023(令和5)年度前受金 (総合型・推薦62名 入学者分)
合 計	6,214,019	

項 目	2024年度予算	摘 要
会議費	190,000	
総 会 費	30,000	総会費用
役員会費	160,000	役員会費用
事業費	3,544,000	
食堂・設備助成費	600,000	島津学園への食堂助成
体育助成費	350,000	学長杯スポーツ大会助成・体育大会学等
学習助成費	1,100,000	学園祭、レントゲン祭、上靴等助成等
就職指導費	100,000	学友会との就職懇談会等助成等
広 報 費	294,000	保護者会だより(2回)印刷費等
式典助成費	1,100,000	卒業・入学式、二十歳のお祝い、謝恩会等
事務費	0	諸事務費
通 信 費	78,000	保護者会だより(2回)印刷費等だより等送料
消耗品費	25,000	文具など
雑 支 出	18,000	京信 IB 手数料等
会費(返金)	0	入学辞退者返金分
予 備 費	10,000	突発事項対処予備費
小 計	3,865,000	(支出小計)
繰越金	2,349,019	次年度繰越
合 計	6,214,019	

前年度繰越内訳	
定期預金	1,200,000
普通預金	1,693,302
現 金	667
合 計	2,893,969

発 行 人 安藤 公人  
 編集責任者 森 俊博